

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------------|------------|
| I. 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| V. サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|----------------|-----------------|
| 事業所名 | グループホームあいの街 焼津 |
| (ユニット名) | |
| 所在地 (県・市町名) | 静岡県焼津市石津 |
| 記入者名 (管理者) | 鷲山 恵理 |
| 記入日 | 平成 21 年 6 月 15日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|--|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | できていない | ○ 事業所独自の理念がないので今後考えていきたい |
| 2 | <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | できていない | ○ 理念の共有が出来ていないので、職員が同じ方向性で介護が出来るよう努力していきたい。 |
| 3 | <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | できていない | ○ 事業所の存在を認識してもらえてない。という現実があるので今後地域へ認識してもらい理念を理解してもらえるよう努力していきたい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | お隣の方とは散歩の際など挨拶を交わす。・犬を飼っている近所の方の敷地内へ入らせて頂き動物との交流をさせていただいている。 | ○ 今後も現在の関係を持続していきたい。 |
| 5 | <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に入っていない。・敬老会へ参加。・市内で行われる行事には出来るだけ参加するよう努める。 | ○ ・自治会に加入し、積極的に地域とのかかわりを持って行きたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 利用者への支援が中心となり、地域の高齢者に対しての意見交換など、まだできていない。 | ○ | ・運営推進委員会を通じて地域の高齢者の暮らしについての話し合いが出来るようにしたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | ・自己評価をすることで、自分たちのケアを見直し何が出来ていて何が江きていないかを明確にすることで今後のケアに生かして行きたいです。 | ○ | ・出来ているようで出来ていないことがたくさんあるので今回の評価で指摘されたことについては特に改善していきたいです。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2回しか行ってないため、まだ出来ていない。 | ○ | ・2ヶ月に1回開催し、外部へ施設内の活動を知ってもらいまた意見を取り入れサービス向上に生かせるよう努力したい。 |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | できていない | ○ | ・サービスの質の向上のための連携を深めて行きたい。 |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | できていない | ○ | ・勉強する機会を設けていないので今後、少しずつでも行って行きたい。 |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | できていない。・虐待防止に努めている。 | ○ | ・学ぶ機会を設けられずにいるため、今後会社を通じ機会を作って行きたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ・出来るだけ直接会って、御家族・本人の話を聞く機会を設けている。 | ○ ・十分な説明が出来ている。とはいえ、まだ改善点が多くあるように思います。 |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 内部での意見・不満・苦情はその都度言ってもらっているが外部へ表せる機会はない。 | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ・面会時、必要に応じて連絡を取るようになっている。 | ○ ・ご家族の要望に沿えていないことが多くあると思うので意見を聞いて反映させていきたい。 |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ・家族会を開きアンケートや直接的な意見を言ってもらえるよう努めている。外部へ表せる機会は設けていない。 | ○ ・もっとご家族が意見等、言いやすいような働きかけをしていきたい。 |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の意見は出来る限り反映できるよう努力している。 | ○ ・職員の意見・要望に対する回答が遅かったりそのままにしてしまっているところもあるので前向きな意見に対しては特に反映されるよう努力していきたいです。 |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | ・その都度、必要に応じて対応している。・スタッフ不足もあり、柔軟には対応できていない。 | |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ・出来るだけ最小限に努めるも離職する人が多い。・利用者への配慮はある程度できている。 | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|----------------------------------|---|---|----------------------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ・会社では新人研修を行っているが全員が参加するのは難しい。意欲がある職員に対して研修など十分な支援ができていない。 | ○ | ・外部研修へ参加できる機会を作って行きたい。 |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・できていない | ○ | ・機会があっても参加できずにいる。 |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | ・出来るだけ働きやすい職場作りに努めているが職員個々に思っていることや不満も十分に聞き取れていない。 | | |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 個々の努力や実績、勤務状況の把握はできている。 | ○ | ・向上心をもてるような待遇改善。・今、現状でできる努力はしていきたいです。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ・自宅等に伺い話を聞く機会を作っている。施設見学もお願いしている。 | ○ | ・認知があるため、ご本人から聞くことは短時間では困難なためもう少し時間をかけて行きたい。 |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ・施設見学をしてもらい説明をしている。自宅にも伺い、話し合いを行っている。 | ○ | ・聴く時間をもっと多くとるようにしていきたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|------|---|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ・本人、ご家族に会い、話し合ったことを持ち帰り検討している。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ・見学をしてもらい、施設の雰囲気・入居者の様子を見てもらい本人が馴染むことができる場所なのか体験してもらっている。 | ○ | ・お試し期間を作り、利用者様、ご家族、職員が入居について検討できる時間を作って行きたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | ・日々の生活の中で、できる事は見守りの中一緒に行い、達成感を味わってもらったり、コミュニケーションをとりながら信頼関係が築けるよう努めている。 | ○ | ・自己主張が少ない方に関しては、十分に思い・希望を聞き入れられていないと思うのでご本人の思いを汲み取れるよう努力していきたい。 |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ・面会に見えた時等、様子を伝えている。また、悩み事や困ったことがあった時も相談したり連絡を取り合っている。 | ○ | ・様子を伝えているが、まだまだ少ないように思えるので、家族会の開催を増やしていきたい。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ・コミュニケーションをとりながら情報を得るよう努力している。 | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・ご家族には外出する機会を作ってもらっている。 | ○ | ・個別ケアでグループホームとしてできることがあれば対応していきたい。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | ・利用者様の間に入り、うまくコミュニケーションが取れるよう支援している。・皆様でできるレクを考えて行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ・退所後の近況を電話等で確認をしている。 | ○ | ・面会の機会を増やして行きたい。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ・本人からは聞くことは困難な場合があるのでご家族とコミュニケーションをとりながら行っている。 | ○ | ・本人から根気よく聞き出す努力をしていきたい。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・本人、ご家族に会い、話し合ったことを持ち帰り検討している。ご家族より情報はもらっているがまだまだ把握しきれしていない。 | ○ | ・ご家族等より情報を得る必要があるので努力していきたい。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | バイタルチェック、食事量、水分量、排泄チェック、身体観察、コミュニケーションをとりながら把握に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ・本人とは無理・限度があるがご家族が面会に見えた時等意見を聞いている。職員ともコミュニケーションをとりながら作成している。 | ○ | ・真のニーズを見極める為に観察力を磨いていきたい。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ・現場の職員とケアマネージャーで情報交換をしている。 | ○ | ・モニタリングシートをもっと有効活用していきたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------|---|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ・個人の経過記録の記入は行っている。 | ○ | ・ケアプランに沿った記入の検討をしていきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ・ご家族の要望や必要性があった時は、介護保険内では対応している。・自費がかかるサービスについても説明している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ・市が主催する敬老会には事前連絡し許可を得て参加した。 | ○ | ・ボランティアには声をかけ、来て頂き、利用者様には楽しんでもらえるような企画を立てて行きたい。 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ・必要性があった時には、他事業所と連携はとっている。 | ○ | ・情報量が少ないので情報量を増やす努力をしていきたい。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | ・まだ一度も機会がないのでやっていません。 | ○ | ・。機会があったら積極的に参加したいです。 |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ・なじみのかかりつけ医への受診をご家族とともに通院されている。・医師への質問等があればご家族に伝え、相談していただいている。必要に応じて同行もしている。 | ○ | ・主治医とうまく連携できていないので、うまく連携がとれるよう努めて行きたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|------|--|
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | ・専門医ではないが主治医には相談し、助言を受けている。 | ○ | ・専門医の情報が少ないので、情報を集めご家族にも紹介できるよう努力していきたい。 |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ・看護師とは情報交換し、相談しながら介護している。 | | |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | ・入院先には詳しい情報を提供する様努めている。・退院に際しては、病院関係者、御家族、職員と相談しながら利用者様にとって1番良い方法を考えながら行っている。 | ○ | ・しっかりした連携体制を確立していきたい。 |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ・御家族、職員の思いと主治医の思いが一致なくて、共有出来ない時があった。 | ○ | ・主治医とは何でも話せるような関係を作って行きたい。 |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | ・施設の思いが主治医に伝わらず困った時があった。 | ○ | ・利用者様の今後の変化に備え、職員一同、検討・準備をしていきたいです。 |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ・出来るだけ詳しい情報を提供できるよう努めている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|------|--|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>・記録の記入の際、名前の表記はイニシャル。 ・お名前を「ちゃん」「ニックネーム」等と呼ばない。</p> | ○ | <p>・羞恥心に配慮したトイレ誘導(徹底できていない)・声かけ対応に関しては徹底できていない面があるので努力していきたい。</p> |
| 51 | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>・個々のレベルに応じた声かけの内容。・日々の生活の中で、大半のことは本人の希望に添えるよう支援。・自己主張が少ない方には、積極的に関わりできるだけ本人からの声を傾聴する。・いろいろなことを選択して選べるような支援。</p> | ○ | <p>・自己主張が少ない方に関しては、十分に思い・希望を聞き入れられていないと思うので偏りが内容努力していきたい。・自己決定してもらえる事はたくさんあるのにできていない。</p> |
| 52 | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>・日々、外出や散歩・体操やレクリエーションなどの活動の際は必ず本人に確認する。</p> | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>・2. 3ヶ月に1度訪問美容室の利用。・起床時・入浴時などの衣服は本人に選択してもらうよう支援。・起床時の整容のお手伝い。</p> | | |
| 54 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>・毎日の献立を記入し、同じような食事内容にならないよう配慮したり、調理ができる方・好きな方にはできることを一緒に行う。・メニューの相談(何が食べたいかなどを希望を聞く)・スタッフは同じ食事を利用者さんと一緒に食べる。・片付けもできる方には一緒に手伝っていただく。</p> | ○ | <p>・現在、一緒に調理・片付けができる方が限られているので、同じ利用者様ばかりでなくできる方には、無理なくできることを一緒に行えるよう支援していきたい。・現在できていることが継続できるよう努力していきたい。</p> |
| 55 | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>・おやつの内容に合わせて飲み物を変え、いくつかある中から選択していただきたく。・おやつもたくさんある中から好きなものを選んでいただけるよう支援。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|--|------|--|
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | ・声かけによるトイレ誘導。・全介助の方には、定期的に声かけにて誘導。・排泄状況を把握し、リハビリパンツから布パンツに替えたり個々にあった排泄支援。 | ○ | ・身体状況の変化によって、ほぼ自立されている方の排泄状況の把握が充分でないところもある。・現在できていることの継続。 |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | ・その日に入浴される方は決めますが、他の方で入浴希望者がいたら入浴できるよう支援。・時間帯の決まっているが、その時の状況で可能な場合は夜、就寝前に入浴。・「今日は入りたくない。」など拒否がある方には無理強いしないで気分が向いたときに入浴できるよう配慮。 | ○ | ・時間帯に関してはどうしても職員の都合が優先されがちになってしまいます。時々、就寝前に入浴希望があった場合。職員の人数や状況で希望に添えないことがある。・できていることの継続。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | ・日中はなるべく体操や散歩などをし、身体を動かして安眠につなげられるよう心がけている。・天気のいい日は散歩または日光浴。 | ○ | ・できていることの継続。・午前中の体操。・午前・午後の近隣への散歩。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ・朝のお掃除、食後の片付け、食事の仕度、洗濯物を干したり畳んだり、日常生活での家事に携わっていただくよう支援。・散歩、買い物・ドライブ | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ・基本的にはお金は所持していません。・ご家族からお預かりしている方は、使用目的等はご家族了解のもとに使用。 | ○ | ・本人の希望が強く、ご家族の了解を得ている方はお財布(小銭)を所持。・使えるような支援は実際、頻繁にはできていないので今後、検討していきたい。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ・季節により、四季の移り変わりに接することができるようドライブや散策。・天気の良い日はできるだけ外へ出れるよう支援。 | ○ | ・できていることの継続。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ・外食や地域のお祭りやイベントなどに参加。・ご家族を招いての食事会。 | ○ | ・ご家族との外出はできていない。・今後も地域の行事には積極的に参加していきたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|--|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ・手紙を書くことがほとんどない。(書くことへの意欲も乏しい)・本人の希望によりご家族への電話はできる。・利用者様の様子によっては希望が無くても電話をかけることもある。 | ○ | ・「手紙を書く」という支援はできていないため、今後 暑中見舞いや年賀状などはがきでちょっとした手紙を書く機会を作っていきたいです。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | ・ご家族にはできる範囲で訪問していただけるよう呼びかけています。・知人・友人の方にもなるべく訪問していただけるようお話をしています。 | ○ | ・ご家族の都合などにより、頻度はまばら。できる限り 気軽に訪問していただけるよう環境づくりに努めていきたいです。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・身体拘束を減らすような取り組みをしている。・外出時は職員とともにドアを開放し行き来できている。 | ○ | |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 現在はすべてに施錠している。 | ○ | ・1階、2階だけでも自由に行き来できるような支援をしていきたいです。 |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | ・安全面への配慮は努力しています。 | ○ | ・スタッフ間の声かけがもっと自然にできるようにしていきたい。 |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | ・完全に防ぐ意味でなくしてしまっている。 | ○ | ・どういった保管方法が望ましいのか考えたいです。 |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | ・防ぐ知識は、個々の職員によって違いがある。・誤薬を防ぐために薬を入れる袋に名前を記入。・火災に関しては火を使用する機会がないため、漏電しないように注意している。 | ○ | ・全員の職員が同じレベルの知識が習得できるよう勉強会や研修に参加できるよう検討したい。・知識については、最低限の事項だけでも統一化する必要があると考えています。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|------|---------------------------------------|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | ・行っていない。 | ○ | ・研修・勉強会を積極的に行う必要がある。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ・防災訓練は行っているが、職員全員ができる状態ではなく実際に起こったらできないことが多いように思えます。 | ○ | ・利用者様・職員全員が参加する避難訓練の実施。 |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | ・ケアマネージャーとが家族間では常にリスクについての話はできているように思います。 | ○ | ・現場の職員全員と十分な情報共有できていないため改善していきたいです。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | ・変化等の異変は、ノート・メモ等細かく記載し、早急に共有し対策を講じるよう努めている。 | ○ | ・今後も職員間の情報共有含め異変に気づける目を持って努力していきたいです。 |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・一人ずつに内服薬名、作用、副作用を一覧にて把握できている。・毎食前後の内服は、職員全員で声かけにて内服確認しています。 | ○ | ・誤薬をしないよう注意し支援していきたいです。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | ・毎日の水分量をチェックし、1日1回リハビリ体操や散歩にて身体を動かすように心がけている。・食事の内容も乳製品や繊維質のものを取り入れるよう心がけています。 | | |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | ・起床時、毎食後に口腔ケアを実施。・職員が一人ひとりの仕上げ、チェックをしている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|------|---|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ・食事の献立表に食べたものを記入、個々に確認しバランスよく摂取できる様、考慮している。・一覧にて、毎食の食事・水分量を見ることができ、その都度対応できるようになっている。 | | |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | ・手洗い、うがいをマメに行うようにしている。・入浴も2～3日おきに行い、朝夕の更衣時にも全身状態の確認を行っている。 | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | ・生鮮食品は2～3回/週、購入し、新鮮・安全なものを提供している。・調理器具は毎晩消毒し、水回りの清潔保持に努めている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | ・玄関はいつでも、誰でも出入りできるよう施錠せず開放しています。・玄関内は季節を感じられるような雰囲気作り、玄関先にはベンチを置いている。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・扉の開閉音や家事に伴う雑音の最小限、窓辺から差す陽光調整や、目に優しい電光などの配慮に心がけている。・共通空間作りの工夫として、利用者様の日常や行事参加の写真展示、ともに作る季節を感じる展示物や生け花の展示など実施している。 | ○ | ・現状維持に努めたいです。またご指導賜る機会があれば、適する事例の受け入れを検討していきたいです。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ・窓辺に置くソファや台所脇の長いす、和室や畳み敷きの空間を活用し、独りで休んだり、利用者様同士で会話したり、時には職員と会話したり、共通空間の中での一人ひとりの居場所作りを実施しています。 | ○ | ・現状維持に努めたいです。またご指導賜る機会があれば、適する事例の受け入れを検討していきたいです。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・家具、置物、小物等、利用者様及びご家族の好みを優先するも、ADLの低下に伴う誤動作など危険性に配慮した上で、居心地良い環境づくりを実施している。・ご家族の協力を得ながら、季節に適切な衣替えができるよう支援しています。 | ○ | ・現状維持に努めたいです。またご指導賜る機会があれば、適する事例の受け入れを検討していきたいです。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | ・においや空気のだよみは、消臭剤の利用や換気を通して気にならないよう配慮している。・温度調節については、快適に過ごせ様にエアコンを利用して管理。・インフルエンザ対策としても加湿器を利用した湿度管理にも心がけている。 | ○ | ・現状維持に努めたいです。またご指導賜る機会があれば、適する事例の受け入れを検討していきたいです。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ・一人ひとりの身体機能を把握し、椅子の高さやそれに伴う足置き設置、ベッドの高さの調整、手すりの利用など、自立した生活の継続に必要な環境づくりに心がけている。 | ○ | ・現状維持に努めたいです。またご指導賜る機会があれば、適する事例の受け入れを検討していきたいです。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | ・トイレやお風呂場にあげる見やすい表示、各居室の温かみのある表札など、一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫した環境づくりに努めている。 | ○ | ・現状維持に努めたいです。またご指導賜る機会があれば、適する事例の受け入れを検討していきたいです。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ・玄関脇の陽だまりにベンチを設置し、日光浴や会話をしたり、歌を歌ったり、集いの場として活用している。・ベランダについては、物干し場としての環境整備に努めている。 | ○ | ・外回りの花壇の手入れを利用者様とともに取り組む機会を取り入れたい。 |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | ○ | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | ○ | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | ○ | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | | ①大いに増えている |
| | | | ②少しずつ増えている |
| | | ○ | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の2/3くらいが |
| | | ○ | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | ○ | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・職員と利用者様となじみ関係を築き、職員も利用者様も共に笑顔で過ごせる環境作りをしています。・利用者さまの楽しみのひとつとなる食事。(手作りのものを中心に職員が愛情込めて作っています。)・月に一度はイベントを開催。